

<ご参考> 日本生命スポーツ取組および愛知こどもホスピスプロジェクトについて

■ 日本生命 スポーツ取組

● 当社がスポーツ取組を通じて創出したい価値

当社は、スポーツが持つ価値をいかし、全国各地で取組を展開することで『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』の実現を目指しています。

目指す社会		誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会
人	心身の健康増進	・ 運動習慣の形成や多種多様な経験・人との交流機会によって、心身の健康を増進させ、自分らしく幸せを感じられること
	未来世代の健全な成長	・ 子どもたちにスポーツによる多種多様な経験・人との交流を通じた成長機会を提供することで、すべての子どもが未来に向かって夢や希望を持ちながら自分らしく心身ともに健全に成長していくこと
	DE&Iの浸透・共生	・ すべての人たちがスポーツを通じた多種多様な経験・人との交流機会からDE&Iの理解を深め、自身と他者の違いを考え受容・共生することを通じて、自分らしく幸せを感じられること
地域社会	地域社会の活性化	・ 地域住民や企業等の交流・連携の機会の提供によって地域に一体感や活力をもたらす。また、人・企業等の繋がる機会によって共創を生み出し、地域社会の課題解決に向けた意識・行動を促し根付かせていく
地球環境	豊かな自然環境の継承	・ 地域住民や企業等の自然環境課題に対する理解度醸成の機会提供から意識・行動を促し根付かせていく。また、人・企業・自治体等との繋がりによって共創を生み出し、自然環境課題の解決に寄与する

従業員エンゲージメントの向上

日本生命スポーツサイト

当社のスポーツを介した全国各地での取組をご覧ください。



詳細はこちら

2035年のありたい姿

スポーツの取組を通じて当社が目指す未来



詳細はこちら

■ 認定NPO法人 愛知こどもホスピスプロジェクト ※◎愛知こどもホスピスプロジェクトホームページ

こどもホスピスとは？

生命を脅かす病気や障がいのあるこどもとそのきょうだい・家族が、病院や自宅では体験できないイベントを楽しんだり、家族でのんびり過ごす場所のこと。

ACHPの理念

存分に生きるを、一緒に。

代表 畑中 めぐみ

わたしたちは、「存分に生きるを、一緒に。」を理念とし、生命を脅かす病気や障がいのあるこどもとそのきょうだい・家族が、今という時を存分に生き、楽しみや喜び、悲しみなど、どんな気持ちもともにわかちあえる「こどもホスピス」の設立・運営を目指します。



存分に生きるを、一緒に。



特定非営利活動法人
愛知こどもホスピス
プロジェクト



▲「病院ではない、でも安心して過ごせる第3の居場所」
2028年度に、東海初の常設こどもホスピス設立を目指す

2026年8月8日、仮施設「長久手のおうち」を開設！▼



2026-1011G, サステナビリティ経営推進部